

A004

- T: はい、こんにちは、【T】です。
- I: こんにちは、【I (フルネーム)】と申します。
- T: え、【I (フルネーム)】さんですか。
- I: はい。
- T: はい、じゃ、【I (名)】さんとお呼びしてよろしいですか？
- I: はい、お願いします。
- T: はい、よろしくをお願いします。
- I: おながします [お願いします]。
- T: あの、【I】さんは、日本にいらしてどれぐらいになりますか？
- I: そうですね、17 [じゅうなな] ね、にえんか、18年目になります。
- T: 18年ですか。
- I: はい。
- T: あ、そうですか。
- もう、じゃ、ずっとね、ほんとに、あの、も、すっかり、あの、日本の生活に、あれしてらっしゃると思
うんですけど、じゃ、お仕事をこちらでなさってるんですか？
- I: そうですね。
- T: はい。
- I: はい。
- T: どんなお仕事ですか？
- I: え、いちよ [一応]、サービス*なんですけれども (はい)、あの、衣装、あの、かかわりありまして (え
え)、その、ホテルに勤めてありまして (はい)、その中に衣装室、ございまして (はい)、そのスタッフの
一員として働いています。
- T: ホテルの衣装室？
- I: はい。
- T: はい。
- えーとー、といいますと、例えば、結婚式のとか、そういうです、ことですか。
- I: そうですね、結婚式場ですね、はい。
- T: あー、そうです…
- I: 着物もドレスも、たくさんございます。
- T: あー、そう (はい) ですか、はい、わかりました。
- で、あの一、え一、どちらからいらっしゃったんですか、お国は、はい？
- I: 中国から…
- T: 中国ですか。
- I: 参りました、はい。
- T: はい、中国は、ま一、ひ、とても広いんですけれども (そう…)、中国のどこでしょうか？
- I: 【地名1】省なんですけれども (あ…)、【地名2】に近いところに住んでいます。
- T: あー、そうですか (はい)。
- えーと、【地名2】は、あの一、東北地方でね、非常に寒いとお…
- 【地名3】によく似ているんですか？
- I: そうですね (はい)、そんなに寒くは、暑くはないし (はい)、住みやすいところです。
- T: そうですか (はい)。
- あの、じゃ、気候的にはよく似ている…
- I: そうですね。
- T: っていうことですか。
- I: はい。
- T: じゃ、なんか、あの、【地名3】の【地名4】との違いって、どんなところにありますか？
- I: 違い、【地名3】と？
- T: はい、あの、【地名4】と、その、【地名2】との違いというのは？
- I: そうですね (はい)、どっちかという、環境のほうがきれいです、っていうか、あの一、環境のほうがい
いですね。

A004

あの…

T： え，【地名2】が？。

I： 【地名2】よりは，こっちのほうが…

T： あー，そうですか。

I： あの一，環境もきれいだし，あの，…

T： 環境がいい，きれいで…

I： いいですね，はい。

T： あー，そうですか。

I： 街，もちろん，きれいなんですけれども〈はい〉，あの，住みやすいところも，ほんとに，病院とか美容室とか，いろんな，こう，あの一，病院は多いんですね。

うちに近く，特に，あの一，病院多くて〈ええ〉，ないものない，ゆ，くらいに，その，内科とか小児科とか〈はい〉，あと，歯医者さん〈はい〉，も，ほんとに，しょ，婦人科とか〈は，はい〉，もう，まわりに，歩いて1分くらいもかからないくらいに〈ええ〉，いっぱいありますので…

T： あー，そうですか。

I： *，そ，そっち，【地名2】のほう，***，田舎なので，わたし〈はい〉住んでるところ〈ええ，ええ〉，そんなに，たくさん病院とか，美容室，あの，ないので〈はい〉，ほんとに，すごい，いいです，こちらは。

T： そうですか。

I： はい。

T： あの，そういう便利さもあると思うんですけど〈そ…〉，こう，人と人との関係というようなところではいかがですか？。

I： そうですね，田舎ですから，もう，みなさん，もう，ほんとに，もう〈はい〉，し，なんていう，し，親戚みたいな感じの付き合いして〈はい〉いただきましたので〈ええ〉，やっぱりこっちに来て，あの，みなさん田舎とって，わたし***，ちょっと都会みたいですね。

あの一，すごい，こう，近所の付き合い，そんなに，あまりないんです。

特に，最初，あの，団地に住んでますので〈はい〉，そんなに，挨拶ぐらいの程度でしたね〈はい〉，最初は〈はい〉。

でも，隣のおばあちゃんは，一番親切で，いろいろ声かけてくださって〈はい〉，とても助かったんですけども〈はい〉。

T： え，ていうことは，【地名2】は非常に，こう，全体が，こう，街として，あの，みんなでこう行き，行ったり来たりだったけど，【地名4】はそうでもなかった，ということですか？。

I： 最初〈はい〉，感じたことですね，うん。

T： あー，なるほど。

で，今はいかがですか？。

I： 今はもう，あの一，生活も慣れてきたし〈はい〉，もちろん，もう会話くらいはできたので，そこをまず，付き合い，あの，あります。

T： あー，そうですか〈はい〉。

そうすと，それは街の違いというよりも，えー，【I】さんの，こう，変化ということでしょうか？。

I： そうです，それもありますね。

T： はい，そうですか。

I： うん，やっぱり言葉の障害が一番ありますね〈んー〉。

習慣ももちろんなんですけれども〈はい〉，あの一，通じないということが，一番つらいことですよ。

T： なるほど。

I： はい。

T： で，今，その，言葉の障害っておっしゃったんですけど〈はい〉，その一，人との関係もこれだけ変わってきたっていうことは，どのようにして勉強なさったか，ちょっと教えていただけますか？。

I： そうですね〈はい〉，始めころに〈ええ〉，ほんとに，あの一，通じないですから，いじょう，はや，早めに仕事に行って，あの一，ま，少し日本語わかるが，し，仕事に行っただけなんですけれども〈はい〉，やっぱりそのぶん苦労してるんですけれども〈うん〉，あの一，わからないこと，たくさん〈はい〉あつて〈はい〉，も，もちろん人と付き合い，のも，あの一，日本のかただから，言葉も通じないし〈はい〉，そして，あたしも，わたい【話題】作るの，やっぱり必要だと思ひまして〈ええ〉，自分から進んで入り込まないと〈うん〉，

相手、ただ、あの、聞きたいから、どこから来たのとか、あの一、簡単なこと、聞いたあとに、あと、あの、去っていくというか、もう、他のことも聞かないんですけれども〈はい〉、じゃ、話題作るには、どうしたらいいかって〈はい〉いうことで、もちろんテレビもそうなんですけれども、で、ちょうど、あたし、レストランに勤めてますので、新聞いっぱいありまして〈はい〉、で、時間あるときには〈はい〉、ちょっと[ちょっと]新聞見て〈はい〉、漢字いっぱい書いて〈はい〉ありますので〈はい〉、それ、やっぱり、結構助かりまして〈はい〉、で、テレビだと、ほんとは、あの、ドラマの、あの、笑い番組とか、あまり、そんなに見ないんですけれども〈はい〉、そういうのも見るようにして〈なるほど〉、で、わからないことあったら、すぐ、やっぱり辞典ひらいて〈うーん〉、そうすると、すぐ覚えてくるんですね。

T: なるほどね〈うん〉。

素晴らしいですね〈え {笑}〉。

で、今、たぶんお忙しくて、なかなかテレビは見られないかもしれませんが、非常に印象に残ったテレビドラマってありますか？。

I: そうですね〈はい〉、最近見たのは、あの一、『【ドラマ名】』っていうの、昨日なんです。

T: そうですか。

I: はい、ちょっと、あの、途中なんですけれども、…

T: 昨日、わたしは忙しく、仕事、夜中までしてたので〈{笑}〉、ちょっとそのストーリーを詳しく教えてください。

I: {笑} そのストーリーを。

T: はい、お願いします。

I: 途中しか見てないです〈はい〉けれども〈はい〉、ちょっと、その一、あの一、しゅに[主任]、おそこそ、主任役の、あの、パークリパ[バック売り場]〈はい〉の彼女なんですけれども〈はい〉、主任役のかたが〈はい〉、あの一、フランスに研修に最初、あの、行くこ、こと、なっていた〈はい〉んですけれども、結局、他のかたから、そ、その前に、じぞー[実は]、結構長いんですけれども、スポ、あの一、プロポーズされて[されて]〈はい〉、いろんなかたからね、で、その、悩んだ結果に〈うん〉、あの一、いちな、幼馴染みのかたと結婚するというので、決めたんですね〈うんうんうん〉。

ね、フランス、研修に行きたいんですけれども、やっぱり、かの、彼にとっては、か、ちょっと失礼っていうか、かわいそうと思って〈はい、うん〉、お父さんから電話来たらしいんですね〈うん、うん〉、その、彼女の〈うん〉お父さんから。

じゃ、彼と結婚しようということで〈うん〉、フランスの研修やめて〈うん〉、他の人によつて[譲って]あげたんですね〈うん〉。

そういう感じで、あの一、まず、その、パークリパ[バック売り場]の仕事、とても好きで〈うん〉、まだぬくる[残る]ことにしてるんですけれども〈はい〉、もちろん上司のみなさんは、もう大喜びですね〈うん〉。

いてくれれば助かる、ちゅうことで〈はい〉、そういう感じですね〈ふーん〉。

でも、ひきやく[結局]、あの、彼が、あの一、彼女はもう、フランスに、へ、研修に行くというということで〈はい〉、自分がちょうど仕事、あの一、ドバ[ドバイ]っていうところ、行くことになりまして〈はい〉、それこそ、いちねぬす、壁塗りなんですけれども〈はい〉、で、彼女にあいさつに来たんですよ〈はい〉。

あたし、じゃ、あの一、行ってきます〈ええ〉、ドバに〈はい〉。

で、彼女も結婚するつもりだったんですけれども〈うん、うん、うん〉、え一、っていう感じでびっくりして〈うん、うん〉、え、どうしてっていう感じで、あの一、認めてくれたから、ドバに、あの一、その、壁塗りに行ってくる〈はい〉、*、どのぐらいですか、*、1年間〈うん〉、あなたもフランスに行くに、いちが〈うん〉、1年間でしょ〈うん〉、ちょうどいいですよって〈うんうん〉、***、本当はもう行けなくなって〈はい〉、もう、がっかりしてたんですけれども、それでも、まず、あの、今、い、いるところで、頑張っているんですね。

T: うーん、なるほどね〈はい〉。

わかりました〈はい {笑}〉。

そうやっていろんな、で、テレビを見たり、え、新聞見たりして、こう、壁を乗り越えていったんですね。

I: そう、はい {笑}。

T: はい、で、え一と、ちょっと話は、あの一、戻りますが、さっき、お仕事で〈はい〉、え一、結婚式の、え一、衣装とかって、おっしゃいましたよね〈はい〉。

で、あの一、結婚式、ま、日本人の人が多いですよね。

A004

- I : そうですね。
- T : 非常に、やっぱり結婚式への、その、結婚式観っていうんですかね {笑}。
ずいぶん、中国とか、*、日本では違うと思うんですけど、そのへんでなにか感じられたり…
- I : そうですね。
あたし、あの、挙式のしんぜ〈はい〉、神前式から〈はい〉、もう、違うんですね〈はい〉。
で、うち、*、ぜんぜ、じんぜん、**、人の前の〈はい〉、結婚式多いんですけれども〈ええ〉、神前式で、ほんとに、あの、あの、音楽から〈はい〉、もう、ほんとに、慣れなもんですから〈ええ〉、わたしと旦那も、ここで結婚式〈はい〉してますので〈はい〉、最初、ちょっと慣れたい、慣れないんですけれども〈はい〉、なんとなく、その、音楽、きてるとこ〈はい〉、なんて、暗い音楽ですね〈うん〉。
あの、なにいうか、あの、今…
- T : 暗い。
- I : 暗いんですね、こう、どっちかというのと、その、挙式の音楽〈あー〉、はい*、暗い音楽で、ちょっと慣れなかったんですけれども、だんだん…
- T : そうですか〈うん〉、暗いですかね？
- I : 暗い、わたしにとって、すごい、こう〈あー〉、暗いです。
向こうだと、すごい賑やか〈はー〉っていうイメージなんですね〈なるほどね〉。
結婚式では盛り上が、披露宴みたいな感じ*…
- T : 少し静かすぎるということですか？
- I : 静かすぎるんですね。
- T : はい〈はい〉、厳粛であるという感じが…
- I : で、しろむく、白なんですね〈はい、ええ〉。
うん、な〈なるほどね〉、三々九度もしたりして、うん。
- T : なんか、とつても苦労するところ、したことってありますか、その違いによって？
- I : そうですね、あの一、せいこそ、最初、なにもわからないですから〈はい〉、着物、どういうものなのか〈はい〉、その、とみそでとか〈ええ〉、つけさげとか〈はい〉、どゆとき [どういうとき] 使うとか〈うーん〉、そういうのも〈はい〉、知らないままで、あの、配属されたので〈なるほどね〉、そこから〈はい〉、やっぱ、苦労しましゅね。
一から、勉強しないと…
- T : で、とつてもいいお仕事だと思んですけど、実は日本では、あまり結婚しないという若者が増えてますよね。
- I : そうですね〈はい〉。
地味婚が増えまして〈ええ〉、はい。
- T : これについてはどうお思いですか？
- I : できれば、あの一、みなさんにお祝いしてくれたほうが、幸せになれる、っていうあ、わたしの考えかもしれないんですけど…
- T : あ、ていうことは、あー…
- I : たくさんのかたから、お祝いしていただく、っていうのは〈はい〉、あの、普通の、こう、あと〈はい〉、幸せになれるっていう、あの一、感じ…
- T : はい、あ、【I】さんのご意見は、結婚式のことでですか、もう結婚そのものを…
- I : 結婚式…
- T : しない、という若者が増えてるんですね。
- I : そうですよね。
- T : はい。
- I : それはちょっと不思議なんですけれども…
- T : 不思議ですか。
なぜだと思いいになりますか？
- I : いや、だから、その〈はい〉、決まりごと、っていうか〈はい〉、こう、*、出産とか、結婚式にも、そうなんですけど、ひとつひとつ、やっぱ、こう、なんていうかな〈うん〉、クリア、クリア〈うん〉っていわないけど〈うん〉、なんていう、言い方わかんないんですけれども〈はい、ええ〉、していった〈うん〉、それは人生の、こう、ひとつい〈うん〉、ひとつの、クリアっていうか、な、クリ？

A004

T: はい。

I: なんていう、言葉わかんないんですけど〈ええ〉、それはず、普通の〈はい〉、こう〈ええ〉、い、い、うん、人のい、こう、なんていうかな〈うん〉、き、決まり、っていうか、のことではないかと〈んー〉、わたしの考えかもしれないんですけども…

T: なるほど、ま、はい…

I: もちろん、今、七五三、やるかたも少なくなってるし〈はい〉、ええ、わたしはがんばって〈はい〉、自分のこともやってあげたいな〈うん〉、っていう気持ちです。

T: で、ま、それは、あの、セ、あの一、セレモニーとか〈うん〉、式ですけど〈うん〉、結婚そのものをするのが、とっても大変だし、自由でいたほうがいい、というような考え、確かに、今、そうじゃないかな、と思うんですけど {笑}。

I: そうですね…

あたしも、あの一、噂かも〈はい〉しれないんですけども、あの一、せっかくお母さんがね、お金貯めて〈はい〉、はい、これ、結婚式やってあげよう、っていう〈ええ〉、200万貯めたんですけど〈はい〉、はい、でも、そのかたは、この200万、結婚式にやるよりは、車買ったほうがいい、と〈うん〉いうかたもいらっしやって〈はい〉、それは、ちょっと不思議なんですね。

*、車買ったらいいいんですけど〈はい〉、確か便利〈はい〉なんですけど、あの、一生の記念、っていうか〈うん〉、こう、いい思い出、作れないじゃないですか〈ええ〉、その結婚式もやらないまま〈はい〉、うん、誰も、この2人〈ええ〉、結婚したかどうかも〈はい〉わからないまま、そういうのも、や…

T: あー、それは式の*、ことですね。

I: そうですね。

T: で、そもそも、だから、あの一、ま一、結婚する人も少ない、夢がないとか、いろんなことがありますけど〈はい〉、もし、え一、【I】さんが、え一、少子化対策担当大臣とか、今、ありますよね {笑} 〈はい〉 {笑}。

もし、そんな、*、あの、かただったら、どんなふうにし、したら、どんな政策を立てたら、あの、うち立て、た、出したら、え一、今のこの状況が打開されるでしょうかね？。

I: そうですね〈はい〉、やっぱり、あの一、わたしもそうなんですけど、な、なぜ、こ、子どもが、あの、1人、最初1人にしたかという〈はい〉、保育料はちょっと高くて〈はい〉、で、2人で働いても、なんか、こう、払い、払っていくのも、ちょっと大変でしたね。

で、育つにも、ちょっと、やっぱ、大変です。

親も、みな仕事〈はい〉してるから〈はい〉、面倒見てくれる人もいないし、やば、1人にしようということを、結局、育つの大変という、かん、感じてるから〈はい〉、あの一、あまり次は、あと、いいかなというこ、ところ〈はい〉、うん、考えてしまうっていうか…

T: そうですね。

だか、そのためには、具体的にどんなことが出てきたらいいでしょうかね？。

I: そうですね〈はい〉、今、まず、少しずつ、よくなってきたんですね〈うん〉。

で、2番目生まれたときに〈はい〉、あの、その、保育料も少し〈はい〉安くなってきたし〈ええ〉、もちろん、もう、援助保育〈はい〉もしてくださったので〈はい〉、あ、もっと…

T: もっと、く、国全体で見たときに、どんなか、形になってきたらいいでしょうかね？。

I: 全体ですか。

女性にも働く、やすい、職場とか〈はい〉作ってあげるのが、一番重要だと思うんですね〈はい〉。

もちろん、旦那さんも〈うん〉、協力してもらえないと〈そうですね〉、やっていけないんです。

T: はい。

I: はい。

T: わか…

あの一、ちょっと話は変わるんですが〈はい〉、あの、【地名4】に来て、ほんとにね、あの、きれいな街だなと思って、静かでもとてもきれいな街なんですけど、ある旗を見ました、出店反対という、なんか、あの、大型で、【施設名1】のですね。

I: 【施設名1】ですね。

わたしは…

T: それについて、どうお思いになる…

I: 賛成ですね。

A004

T: 賛成ですか。

I: はい。

T: そうですか。
どうしてです…

I: やっぱり、あの、そうですね、あの、このままだと、なんていう、み、活性化っていうか、も、できない、なくなる、っていうか、もともとそこの、あのー、みなさん、反対してね、わかるんですけども、でも、よそのほうに、はいてくないと、こう、なんていう、こう、進歩がないじゃなく、なんていうかな、は、あの〈はい〉、なんていんだろう [なんていうんだろう]、あの、やっぱり他のもの、こう、入ってきて、こう、いろいろ、こう、やり方も違うんですけども〈はい〉、この、に、賑やかにしてくれるところも〈うん、ええ〉、やっぱり、必要なんですけども〈はい〉、あと、結局、仕事ないじゃないですか、【地名4】には〈うん〉。

あのー、募集、そんなにないので〈はい〉、こう、それによって〈はい〉、結構、みなさんは勤められ、れるし〈はい〉、給料ももらえるし〈はい〉、あの、もちろん〈うん〉、少しでもね、この、【地名4】のために、あの〈ほー〉、ね、役立てればいいな、と思うんですけども。

T: そうですか。

でも、もう【施設名2】もあるし、あのー、地元のね〈うん〉、で、一生懸命やってるお店が、大変なことになりませんか。

I: *、お互いに、あのー、ね、頑張ってる〈ええ、ええ〉、あのー、すればいいかな、とも、ん、だんだん、マンネリ化じゃないんですけども〈ええ〉、結局、店に行っても買いたいもの、ないっていうのも、現実だと思います。

T: あー、そうですか。

I: はい、みなさん【地名3】に行ったりとか〈はい〉。

ほんとに、わたし、車の運転、じょうずじゃないから〈あ〉、行けないんですけども〈はい〉、だいたい会社の人、みな【地名3】にとか〈はい〉、それこそ【地名5】とか〈はい〉、そういうこ、【地名6】の行くかたも〈うん〉、いらっしゃるんですね。

T: でも、あれだけ…

I: *、【地名4】で買わないで…

T: あー、なるほどね。

I: 結局、だから【施設名1】、入って〈うん〉こなくても〈うん、うん〉、買わない人は買わないんだから〈うん〉、入ってきて、もしかして〈うん〉、そこのお金、【地名4】にね、あの、母のうちで、くれれば〈うん〉、また〈うん〉、いいんではないかと思うんですが。

T: そうですか〈はい〉。

でも、あれだけ反対があるということは、それはなぜでしょうか？。

I: それ、やっぱり、あの、古い考えというか、言っているのかしら〈あー、はい〉。

考え方のかたは〈ええ〉、多いではないかと〈あー〉いうことを、わたし、思うんですが。

T: そうですか。

I: うん、あたしも、はなしで〈はい〉、また、ちがないかもしれないですけども〈はい〉、あの、昔、その、駅、今、【地名4】駅なんですけれども〈はい〉、馬車、昔、馬車で、なんか〈ほー、はいはい〉、あ、歩いてたらしいんですけども〈はい〉、で、あの、駅、通るときに〈はい〉、電車、通る〈ええ〉ときに〈はい〉、あの、お願いして、本当、そこ、【地名4】駅が、あの、電車と、通りたかったんですね〈はい〉。

結局、その、馬車組、っていう〈うん〉、あのー、組合あって〈はい、はい〉、反対して〈ええ〉、結局、こういう、こういう状態ってたんですけども〈んー〉、どこが、ほんとの、【地名4】駅、いちまん、なんていうか、こう〈はい〉、中心ではない、っていう感じになるんですね〈なるほど〉。

今、【地名7】のほう、中心みたいな、感じになってますので、*****

T: あー、やっぱり、そういう、なにか〈うん〉、その、組合が反対をして〈そ、*〉、っていうこと。
で…

I: ではないかな、わたしもそこまで、{笑}、詳しくないんですけど、***。

T: なるほど、わかりました {笑}。

で、あの、もしね〈うん〉、あのー、えーと、【I】さん、【I】さんが〈うん〉、あのー、そういう、ぜひやりましょう、という、賛成派の〈*〉、えー、リーダーだとしたら〈はい〉、はい、どのように説得をなさ

A004

いますか {笑} ?。

I : ひとりひとり、あの、せ、せ、説得しに行くしかないかな、と思うんですけども (あー、そうですか)、集めても、結局、ね (うん)、そな、簡単な、こ、説明の中では、なんとか [納得] いかないと思うんですね (なるほど)。

あと、いろんな、こう、メリットというか (うん)、こう、出して (はい)、みなさんに、こう、ね、理解していただ、だくのは必要ではないかと思ひます。

T : じゃ、今、まだ、その努力は足りないんですかね。

I : ではないかな、と、{笑} …

T : {笑} そうですか、はい。

I : あの、そこまで、詳しくないんですけど (ええ)、あくまで自分の考えなんです、…

T : なるほど。

で、今、大型店、あの一、が出ることも (はい)、その、活性化のために、とても大事じゃないか、ってご意見だ…

I : て、思ひます、はい。

T : ったんですよね。

で、例えば、あの一、え一、他の活性化の道としては、どんなことが考えられますか？。

やはり、そういう、あの、責任ある立場にいるとしたら (うん)、どのようなことをお考えになりますか？。

I : そう…

T : 街の活性化っていう、***、はい。

I : 街の活性化ね、今、あの、みなさん協力して、こう、きてるんですけども (はい)、そうですね、やっぱり、あの、【地名4】は、一番、こう、早めに、そののシャッターが閉めるところ多いんですよ (あー、はいはい)、【地名4】の、その【番地名】っていうか。

で、わたし…

T : そう思ひました、わたしも {笑}。

*…

I : {笑} 賑やかさもなくて (はい)、こう、なにかりや、やろうっていう、こう (ええ)、なんていうかな、こう、雰囲気はないっていうか (うーん)。

例えば、なんかや、やったとしても、その、伝わってきてないから (あー)、だれも行けない (なるほど)。

その、せん、せんてん [宣伝] っていうか、*…

T : 宣伝力が足りない。

I : 足りないのかな、もしかして。

T : そうですか、なるほど (うん)。

I : あ、たまに、なんか、あそこ、なんか (うん)、ちっちゃいところに (うん)、なんかやってるかな (んー)、みたいな感じで、ただ、その (うん)、街の、【地名9】の中心のみなさんだけで (うん、うん)、他のほうはないと (うん)、それこそ、こう、【地名4】とか【地名3】からとか、* (うん)、がい、*、全国からの (うん) お客さんと呼ばないと (そうですね)、そんなに活性化できないと思ひます。

だから (なるほど)、街の、こう、中心だけじゃなくて (うん)、市のほうも少し考えてくださればね (んー)、いろいろね、考えてくだされば…

T : 全国から人を呼ぶ方法ですね。

I : そう、そう、そう (はい)。

なんにもないんですよ (なるほど)、あの、言うの、失礼なんですけれど、もちろん、子ども、遊び、ところとか (うん) もないし (うん)、【地名8】のほうも、ちゃんとね (はい)、【施設名3】もあるし (なるほど)、*、わざわざそこに行く人も多いんですけども。

T : あー、そうですか。

I : うん。

T : わかりました (はい)。

今、子どもの遊び場っておっしゃったんですけど (はい)、え一、ご家族のこといかがな思ひますか？。

I : はい。

T : ご家族のこと、ちょっと教えていただけますか？。

I : うちの、もう (はい)、4人家族なんです (はい、はい) けれども、もう長男が今5年生で (はい)、あの、

長女は今2歳なんです。

幼稚園に行ってます。

T: あー、そうですか〈はい〉、なるほど。

で、あの、そうすと、小学校にね、行ってらっしゃるわけですけど〈はい〉、あの一、今、あの一、小学校からいじめの問題が、かなり〈はい、そう〉、あの、出てきてるんですね〈そうですね〉。

中国ではいかがですか、そういうことはあんまりないですか？。

I: わたしのときは、あんまり〈はい〉、そんなに感じなかった〈はい〉んですけど〈ええ〉、みんな仲良く遊んで、いじめっていうのは、言葉も出なかったんですね。

ほんと〈はい〉、いじめという話も聞いたことないんです。

T: あ、言葉として、なかった。

I: *、なかったっていうか。

T: そうですか。

I: はい。

T: じゃ、今、この日本の社会で、これだけいじめが、こう問題になってるのは、なにが原因だと思いにになりますか？。

I: そうで、親の責任あるんですけども〈はい〉、ま、先生の、こう、教え方もある、ではないかと思えます。

T: 教え方、はい。

I: で、わたしも、自分の子どものことなんですけれども、ちょっと、4年生のときはいろいろありまして、今5年生になると、先生変わったんですね〈はい〉。

で、その先生が、すごい、こう〈はい〉、厳しいんだけど〈はい〉、優しいってうちの息子は言ってまして〈ええ〉、で、とても、あの一、順調に〈はい〉、こ、やってるんですけども〈はい〉、結局4年生のときは、ちょっと、いろんなことある、で〈はい〉、こう、学校に行きたくない〈んー〉、っていう時期もあったんですけども〈はい〉、で、そゆこそ、そ、その、差別っていうかな〈はい〉、わかんないですけど〈ええ〉、その、された部分ありまして〈はい〉、で、そこを、やっぱり〈なるほど〉、うん、先生は〈はい〉責任もあるし、もちろん、うちも、あん、教え方も悪かったかもしれないですけど〈うん、はい〉、うん、だから学校と〈はい〉、あの、家庭も一緒にね〈うん〉、協力しながら、教えていたほうがいいではないかと、連携して。

T: あー、そうですか。

I: うん。

T: 確かにね、学校教育と家庭教育、問題だと思うんですけど〈はい〉、よく言われるのは、テレビ、マスコミのかかわりかたが問題と、いじめのことを取りあげすぎると…

I: はい、そうですね、あたしも思います。

なんでそこまで、あの一、毎日のように〈はい〉、こう、うん、そうです、**、そうそう、…

T: そうですよね、あと、暴力シーンの〈うん〉、ドラマ等ありますよね。

I: で、常に、そうなんです。

すい、すぐ、それで真似するんじゃない、次の、こう〈はい〉、うん、そういうこと、いじめ、自殺とか〈うん〉、だんだん増えてきて〈はい〉、やっぱり、それが、あんまり、そんなに、ほ、ね、あの一、出さないように、じゃないんですけども、あんま、いいことではないの、わかるんですけど〈はい〉、結局、真似する子どもは多いんですね〈はい〉。

あと、ゲーム、ゲーム〈ええ〉、ゲームとか〈はい〉、あと、子どもに、手に入る、あの一、ビデオテープとか、あたしも、***、3年生のとき〈はい〉だと思うんですけども、*、わからなくて、あまり見ないから、で、子ども、これ欲しい、って〈うん、うん〉言って、内容わからないまま、買ってあ、あげたんですね〈はい〉、わたしもそうなんですけど。

ね、実際、一緒に見るわけがないから、ある日、ちょっと〈はい〉、見たところ、み、見たんですね。

ちょっと、すごい、もう、残酷〈うん〉、頭切ったりとか〈うん〉、あの、この〈うん〉、腕が切られたりとか〈うん〉。

い、いくら漫画といえ〈はい〉、ほんとに残酷の〈そうですね〉まん、漫画のドラマなんです。

てか、そういうのも、売っては[わ]い、いいもんですかね、とおも…

T: ですよ、だから、例えば…

I: ちょっと信じられなくて〈はい〉、あと、それ〈はい〉、あの、隠して〈うん〉ました。

T: あ、そうですか。

A004

- I : はい。
- T : * , そういう, 例えば, テレビ, あの〈うん〉, 今のはゲームのあれですけど, テレビでも〈うん〉, ほんとは, もう, すごい大人気だけれども〈うん〉, ものすごく, その, いじめ問題に〈うん〉影響を与えている。だから, 売り上げのことを考えなければやめるべき, だけど売り上げを考えると {笑}, これはストップできないっていうようなことが, あの, 視聴率のね〈はい〉, ことを考えたり, ま, ゲームの場合, 売り上げですよ。
- で, もしね〈うん〉, また, 今日は, 申し訳たくさんですみません。
- I : いえ。
- T : 【I】さんが, テレビ局の〈うん〉, ま, 社長で〈うん〉, えー, みんな社員は〈はい〉, これは売れてるんだから続けよう, でも社長は, 社会的な影響を考えてやめたい。
- I : そうしてほし…
- T : えー, 社員に, ちょっと〈はい〉, あの, 言ってください, 説得してください〈{笑}〉, はい, はい, あのー, 会議で, はい。
- I : {笑} 会議で。
- T : はい, どうぞ。
- I : いや, わたし, 社長…
- T : * , なったつもりでどうぞ, はい, お願いします {笑}。
- I : * , のつもりですか, {笑}。
- T : はい, ええ。
- I : 社長の〈はい〉つま, ではないんですけども〈はい, *え〉, いや, ほんとに〈はい〉, あのー, その影響はすごい, なので, やめてほしい, って言っても {笑}〈うん〉, あの, ちょっと厳しくできないんですけど, わたしは。
- T : そうですか。
- I : {笑} すいま…
- T : でも, それじゃ, たぶん社員は〈そうですね〉, いやー, でも社長, あのー, **, 会社の利益になりますから, やりましょうって言われたら…
- I : いや, 売り上げは重要なんですけれども, あの, 他の, もうちょっとね, 子どもたちに, いいような, こう, えいきゆう [影響], ね, あのー, しやすい, 悪いものは出さないで, もっと, なんていうかな, いい方向のものは, 出してくれば, ま, 売り上げも上がる, だと思っんですけれども, ***〈*〉, 刺激与えるだけじゃなくて〈うん〉, うん, もっといい方向へ考えてくださればいいな, と思っんですが。
- 社長の***, すいません {笑}。
- T : わかりました, はい。
- そうですか, いえいえ, あの, 意見, よくわかりました。
- I : いえいえ。
- T : あとで, みんなで〈{笑}〉, 相談して, ということで {笑}。
- はい, あのー, ここで, ちょっと, ロールプレイをしたいんですけども〈はい〉, ご存知ですか?
- I : あのー, *…
- T : あの, 小さいドラマ, ミニドラマです, はい。
- I : はい。
- T : よろしいですか?
- I : はい, *…
- T : で, あのー, じゃ, 今から始めたいと思っんですけど, あのー, 今までもいろんなサークルとか, ちょっと, 仲間, なんか, ありましたよね。
- 入ってた…
- I : け, 研修は, はい。
- T : あ, 研修ではなくて, なんか, こう, グループで〈グループで〉, なにかなさったこととか, 日本語の教室とか。
- I : そう…
- あ, 教室はないんですけども…
- T : ないんですか, はい。

A004

- I : それこそ、あの、あの、発表会じゃないです*が〈はい〉、あの、なんていうかな、そういうのもありました、最近はないですけど。
- T : そうですか。
 じゃ、あの、こうしましょう。
 保育園で、えーと、お母さんたちのサークルで〈うん〉、えー、お友達のグループで、えー、【学校名】大学の学長を呼んできて、講演会をやってもらうことにしました〈はい〉。
 いいですか、【地名4】でね？。
- I : はい。
- T : そのときの、その、えー、企画のグループですね〈はい〉。
 で、【I】さんが、え、わたし【学校名】大学の【T】学長です。
 あの、講演を頼みに来てください。
 そうですね、あの、例えば、女性の生き方みたいなこと、この権威の人です。
 頼みに来てください、代表で。
- I : わたしがですか？。
- T : はい、はい、ここは、今、【学校名】大学です、はい。
 はい、どうぞ。
- I : え、わたし、保育、**の、あの、父母会の〈はい〉【I（フルネーム）】と申します。
- T : あー、どうも、あのー…
- I : あの、いつもお世話、なっております。
- T : はい、いえ、どうもお待ちしておりました、はい。
- I : すいません、ほんかい、あのー、なにかいか、忘れましてすけれども〈はい〉、えっと、ぜひ、あの、【T】様に、あの、来ていた、いただきたいと思ひまして〈はい〉、今日、参りました。
- T : あ、そうですか、あの〈はい〉、講演会は、えーと、いつでしたでしょうかね？。
- I : そうですね、あのー、来月〈はい〉の10が、10月の〈ええ〉6日でございますが〈はい〉、ご都合いかがですか？。
- T : あ、はい、えーと、たぶん、あの、大丈夫だと思いますが〈はい〉、えーと、いらっしゃるかたは、どんなかたがいらし、多いんですか、あのー、対象者という、受講さ、なさるかた？…
- I : そうですね…
- T : はい。
- I : あのー、父母会の、あの、みなさんと、あと、そうですね、あのー、会社の〈はい〉、あのー、かた、かたと、それこそ、市のほうの、あの、ね、市役所のかたにも、ぜひ来ていただきたいと思ひまして〈はい〉、一応、あの、連絡して、連絡、お願いしてるんですけれども…
- T : そうですか…
- I : そのために、やっぱ、あのー、【T】様ではないと*、あのー、できないかなと思ひまして…
- T : あー、ありがとうございます。
- I : 今日、あ、参りまして{笑}。
- T : あ、そうですか〈はい〉。
 えーと、タイトルとゆいますか〈はい〉、あの、詳しい、あれ*、もうちょっと教えていただけま…
 どのような話がよろしいでしょうね？。
- I : そうですね{笑}、えっと、子どもの、あのー、あ、わたしたちも、やく、やくたつ[役立つ]ように〈はい〉、あの、今回、食育でもよろしいですかね{笑}？。
- T : あ、なるほど、食育ね。
 今、とても…
- I : 食育、実は、わたし、今、一番聞きたいんですけれども…
- T : あー、そうですか、うん、うん、うん。
- I : あのー、子どもが〈うん〉、御飯が、食べな、なかつたりとか、する〈んー、はい〉子が多いようなんですね。
 そこ、れに、について、ぜひ、あの、聞かせていただきたいと思ひまして。
- T : はい。
- I : はい。

A004

- T: わかりました〈はい〉。
 じゃ、詳しくは、また〈はい〉、あの一、電話等でご連絡をして、と思います。
- I: はい。
- T: 今日は、わざわざありがとうございました。
 どうも、はい…
- I: *, ぜひ、お願いします。
- T: はい。
 で、これで終わりますが〈はい〉、次に、えーと、保育、保育所に、保育園に戻って〈はい〉、お友だちに、今あったことを報告してください。
 いいですか。
 えーと、親しいお友だちの名前を教えてください。
- I: したし [親しい] の、{笑}, ですか。
 実はでつ、あたし、はい、入ったばかりなので〈うん〉、名前覚えてないんですけども、すいません {笑}。
- T: あ、そうですか、じゃ、いいです、じゃ、あの一、とにかく、えーと…
- I: あの一、【T】様で、も、同じ、*** {笑}
- T: はい、【T】でいいですね、*** {笑}。
 はい、えーと…
- I: あ、【人名】さん、しておきますか。
- T: あ、じゃ、*, 【人名】さんね、はい {笑}。
- I: すいません {笑}。
- T: わかりました。
- I: あの一…
- T: はい、あの一、じゃー…
- I: そうです*…
- T: え、【I】さん、えーと、どうだった？。
- I: そうですねー、あの一、さきほど…
- T: あ、で、お友だちですね〈はい〉。
 【人名】さんはやめましょう。
 あそこ*** {笑} 〈あ {笑}〉。
 はい、じゃ、【T】で、はい。
 ね、【I】ちゃん、どうだった？。
- I: そうですね〈うん〉、あの一、今、会ってきたんですよ。
- T: うん。
- I: とってもいい印象で、あの、いいかたなので〈うん〉、大丈夫のようです。
 あ、返事、あとで連絡いただくことになってますので〈うん〉、あの一、ちょっと楽しみに待っててね、って。
 * {笑}。
- T: ほんと、うん。
 で、えーと、【I】さん、あの一、どんな人だったか、もうちょっと教えてよ。
- I: そうですね〈うん〉、あの一、とても優しくて〈うん〉、あの一、ん、優しそうな感じで〈うん〉、あの、清潔感ある、こう〈うん〉、あの一、若いかたなんですけれども〈うん〉、あの、とても〈うん〉、あ、教えやすいっていうか、こう〈うん〉、話しかたも、とてもね〈うん〉、わかりやすいので〈うんうんうん〉、きっと子どもたちも、わかるんでないかと思うんですが、ぜひその人が、はい…
- T: あ、そう。
 そいでさ、だ、なんの、タイトルにしたの、*, 結局？。
- I: え、しょくよく、しょ、食育の〈うん〉ことで、ほら、子どもだち、御飯を食べないから〈あー〉、そこをぜひ聞いてもらっかなと**、いと、あの一、聞かせてもらおうと思って〈うん〉、あの、頼みに行ったんですけども。
- T: ほんとに。
- I: うん、***…

A004

- T: あー、いいタイトルだね、うん。
- I: そうですか〈うん〉。
ほら、お宅のお子さんも、食べないって、この前、言ったんですよね。
うん。
- T: うん、そうそうそう、うん。
- I: そこ、やっぱ〈うん〉、困りますので〈うん〉、うん、ぜひ〈うん〉一緒に行こうねって。
- T: うん、わかった〈はい〉。
あー、よかった、ありがとうね。
さすが【I】さんだね。
どうもありがとう。
- I: ***。
- T: はい、ロールプレイはこれで終わります {笑}。
- I: あー、そうですか {笑}。
ちょっと苦しいんですけど {笑}。
- T: 苦しい {笑}。
そうですか、えー…
- I: いやー、こういうのもあるんですか。
- T: 今日は〈はい〉、これからどうなさいますか、午後、はい？
- I: そうですね〈ええ〉、ちょっとい、あの一、母、買い物に連れていって〈ええ〉、足、ない、もんですから〈ええ〉、で、そのあと、もう、子どもがバスケ〈うん〉、あの、やってますので〈ええ〉、で、迎えに行つて〈ええ〉、送りに行かないといけないので、そのあと、また〈ええ〉、2歳の子どもは迎えに行つて、で*…
- T: 大変ですね。
- I: その、食事作つて、また、****…
- T: で、お仕事っておっしゃってましたけど、今日は…
- I: 今日、休みいただいてまして。
- T: あ、わざわざお休みを。
- I: はい。
- T: あー、そうだったんですか。
- I: いえいえ、みなさんね、遠くから来てくださったので。
- T: あー、そうですか。
- I: はい。
- T: はい、どうもありがとうございました。
- I: いえいえ、ありがとうございます。